

4 教義第 784 号
4 教保第 406 号
令和 5 年（2023 年）1 月 13 月

市町村（学校組合）教育委員会教育長 様

長野県教育委員会教育長

年末年始を契機とした新型コロナウイルス感染症の感染拡大への
対応について（通知）

このことについて、別添のとおり県立学校あて通知しましたので、参考にしてください。

長野県教育委員会事務局保健厚生課保健・安全係 （課長）永岡 勝 （担当）中島広介 小田切優美 梅本絵里 電話 026-235-7444（直通）内線 4447 FAX 026-234-5169 E-mail hokenko@pref.nagano.lg.jp	長野県教育委員会事務局義務教育課管理係 （課長）加藤 浩（担当）栗林勝幸 安松大介 電話 026-235-7426（直通）内線 4342 FAX 026-235-7494 Email gimukyo@pref.nagano.lg.jp
---	---

県立学校長 様

教 育 長

年末年始を契機とした新型コロナウイルス感染症の感染拡大への
対応について（通知）

新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株による流行以降、死亡される方の割合は低下してはいますが、第 8 波における新規陽性者数の増加に伴い、11 月最終週以降、死亡者数が極めて多い状況が継続しています。

また、3 年ぶりに季節性インフルエンザの流行期に入り、新型コロナウイルス感染症に加え、季節性インフルエンザの患者も増加し、医療提供体制のひっ迫が進むと、真に必要な方が必要な医療を受けられなくなる事態も懸念されます。

つきましては、新学期が始まる中で児童生徒への感染を防止するため、別紙「年末年始を契機とした感染拡大を乗り越えるためのお願い」及び「オミクロン株対応ワクチンの接種がはじまっています（モデルナ社ワクチン 12 歳以上接種可能版）」を情報配信アプリなどにより児童生徒や保護者に周知するとともに、下記事項について改めて徹底願います。

記

1 体調に異変を感じた場合は登校を控える

児童生徒は、必ず自宅で検温（朝晩）する。

また、児童生徒と同居の家族等が体調に異変を感じた場合は登校を控えることを徹底する。（昨年末、体調不良で登校した児童生徒から集団感染となった事例が複数報告されました）

2 軽症者登録センターの利用

重症化リスクが低く軽症の場合は、軽症者登録センターへオンライン登録するよう依頼する。（別紙「体調に異変を感じたら」参照）

3 新型コロナ検査キット等の準備

発熱等の体調不良時に備え、あらかじめ、薬局等で新型コロナの検査キットや解熱鎮痛薬等を購入し、自己検査などのセルフメディケーションを依頼する。

なお、住民税非課税世帯と就学援助の認定を受けているご家庭の小中学生の有症状者に検査キットが無料配布されることを必要に応じ周知する。

・無料検査キットの配布対象者など、詳しくはこちらから ⇒



<https://www.pref.nagano.lg.jp/kansensho-taisaku/kit-mousikomi.html>

・軽症者登録センターの登録についてはこちらから ⇒



<https://www.pref.nagano.lg.jp/kansensho-taisaku/jyakunenkeisyousya.html>

高校教育課管理係 （課長）服部靖之 （担当）志津千代子 電話 026-235-7430（直通）内線 4364 FAX 026-235-7488 E-mail koko@pref.nagano.lg.jp	特別支援教育課指導係 （課長）酒井和幸 （担当）勝又和彦 電話 026-235-7456（直通）内線 4372 FAX 026-235-7459 E-mail tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
保健厚生課保健・安全係 （課長）永岡 勝 （担当）中島広介 小田切優美 梅本絵里 電話 026-235-7444（直通）内線 4447 FAX 026-234-5169 E-mail hokenko@pref.nagano.lg.jp	

【体調に異変を感じたら】



のどの痛みや発熱などの症状がある方



軽症かつ重症化リスクが低い

症状が重い※または重症化リスクが高い

新型コロナ検査キットでの自己検査
(薬事承認されたもの)

陰性

陽性

自宅療養



症状が続く場合は
できるだけ
平日の日中に受診

軽症者登録センター

登録センターの対象者は
小学生～64歳の方

登録はこちら →
登録後は自宅療養



未就学児は、かかりつけ医等に相談・受診

※症状が重い…水分が飲めない、
ぐったりして動けない、
呼吸が苦しい・速い等の症状

参考
「限りある医療資源を有効活用する
ための医療機関受診及び救急車
利用に関する4学会声明」



速やかに
かかりつけ医等
地域の身近な
医療機関に
相談して受診

なお、相談先が
わからない方は
受診・相談センター



お電話はお住まいの地域の
センターまで

年末年始を契機とした感染拡大を乗り越えるためのお願い

～ 「医療非常事態宣言」 発出中 ～

オミクロン株による流行以降、死亡される方の割合は低下していますが、第8波における新規陽性者数の増加に伴い、11月最終週以降、死亡者数が極めて多い状況が継続しています。

また、3年ぶりに季節性インフルエンザの流行期に入り、新型コロナに加え、季節性インフルエンザの患者も増加し、医療提供体制のひっ迫が進むと、真に必要な方が必要な医療を受けられなくなる事態も懸念されます。このため、下記の点にご協力をお願いします。

令和5年1月12日 長野県知事 阿部 守一

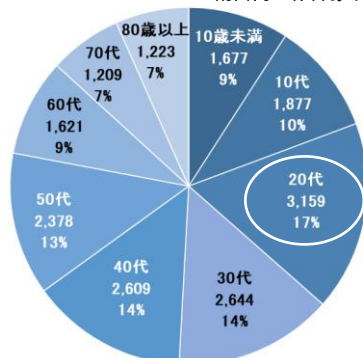
若い方へ、特にご協力をお願いします

20代をはじめ若い方の感染が増加しています。また、新たな年を迎え、社会活動のスタートにより、職場や学校での感染拡大が危惧されます。

- 「基本的な感染対策の徹底」と「オミクロン株対応ワクチン接種の検討」をお願いします。
- 高齢者や基礎疾患のある方等重症化リスクが高い方との接触機会をできるだけ減らしてください。
- 日ごろの体調管理を十分に行い、何らかの不調がある場合は、職場や学校を休んでください。

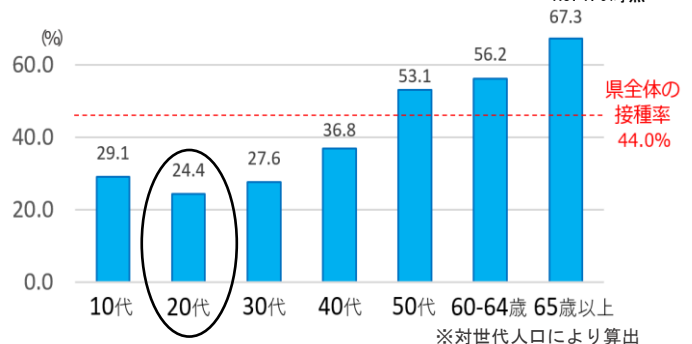
【年代別新規陽性者数（長野県）】

R5. 1. 5～1. 11の1週間



【年代別オミクロン株対応ワクチン接種率（長野県）】

R5. 1. 9時点



健やかに年末年始を過ごすためのお願い

(令和4年12月22日改定)

年末年始は、新型コロナの感染リスクが高い場面が増える時期であり、今年も年末年始を境に感染者が急増しました。

現在は「医療非常事態宣言」発出中であり、医療現場のひっ迫は継続しています。このため、下記の点に気をつけていただき、健やかに年末年始を過ごしましょう。

令和4年12月22日 長野県知事 阿部 守一

【すべての県民の皆様へ】

○ご自身の重症化リスクの確認をお願いします

高齢者等重症化リスクが高い方

- ・感染しないよう最大限警戒してください
- ・発熱、せき等の症状がある場合は、ためらわずに相談・受診してください

重症化リスクが低く軽症の方

- ・受診をできるだけ控えセルフメディケーション※1をお願いします ※1 自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること
- ・そのため、新型コロナ検査キットや解熱鎮痛薬、食料品等の準備・備蓄をお願いします
- ・自己検査で陽性となった小学生～64歳の方は、軽症者登録センターへのオンライン登録をお願いします



○こまめな換気、加湿※2の徹底をお願いします ※2 湿度の目安40～70%。加湿器を用いる場合は、水の交換や機器・フィルターの清掃をこまめに行ってください。

○救急外来・救急車の利用は真に必要な場合とするようお願いします

○新しい年を安心して迎えるため、年内の新型コロナ及びインフルエンザワクチン接種のご検討をお願いします



【帰省などをされる方へ】

○高齢者等重症化リスクが高い方に感染させないよう最大限の注意をお願いします

- ・日ごろの感染対策と体調管理を十分に行い、何らかの不調がある場合は予定の変更をご検討ください
- ・帰省する方は、お住まいの各都道府県の無料検査所等で検査を受けることを推奨します(陰性であっても感染していない保証にはならないので、マスク着用等は継続を)
- ・新型コロナ及びインフルエンザのワクチン接種をご検討ください



各都道府県の無料検査事業サイト(内閣官房HP)

【忘新年会などを行う方へ】

○体調が悪い時は参加しない・させないことや換気の徹底をお願いします

○「信州の安心なお店」など必要な感染対策を行っている店を選び、大声での会話や長時間の利用は控えるようお願いします

【初詣などに出かける方へ】

○混雑する日時や場所をできるだけ避けるようお願いします

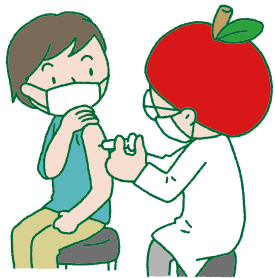
年末年始期間中に発熱患者を受け入れる医療機関を県ホームページに掲載しますので、重症化リスクが高い方等は受診する際の参考にしてください。



年末年始医療機関

医療・介護従事者など、年末年始もコロナと闘っている方々に思いを馳せていただき、県民一丸となって新型コロナ第8波を乗り越えましょう。

オミクロン株対応ワクチンの



接種がはじまっています

新たなワクチンは、オミクロン株に対して、
これまでのワクチンを上回る効果が期待されています。

新型コロナウイルス感染症は、2年連続で年末年始に感染者が増えており、
季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されています。
年末年始を安心して過ごすため速やかなワクチン接種をご検討ください。



詳しくはWebからも
ご覧いただけます



対象者

最終の接種から3カ月以上経過した、
2回目以上の接種が済んでいる、
12歳以上のすべての方が
一人1回接種※できます。



※「一人1回」…3回目・4回目・5回目の回数にかかわらず、
対象となる全ての方が1回接種

ワクチンの種類

オミクロン株対応ワクチンは、従来株※1に由来する成分と、オミクロン株※2に由来する成分の両方を含む「2価ワクチン」です。

ファイザー社製、モデルナ社製ともに
12歳以上※3の方が接種可能です。

※1 新型コロナウイルス感染症発生時の株のこと。オリジナル株、起源株ともいいます。
※2 BA.1対応型もしくはBA.4-5対応型
※3 2022年12月時点では、オミクロン株対応ワクチンは、11歳以下は接種対象となりません。



オミクロン株対応ワクチン	1・2回目	3回目以降接種対象者 12歳以上
ファイザー社ワクチン 【BA.1対応型/BA.4-5対応型】	×	○
モデルナ社ワクチン 【BA1対応型/BA.4-5対応型】	1・2回目の接種には使用不可	○※4

※4 2022年12月14日からモデルナ社ワクチンの対象年齢が拡大され、12歳以上の方も接種可能となりました。

接種券の発行について

接種券をお持ちでない方には、
市町村から新たに接種券が発行されます。

発行時期などの詳細は、
お住まいの市町村にお問い合わせください。

初回(1・2回目)接種がお済みでない方へ

オミクロン株対応ワクチンで

1・2回目の接種を受けることはできません。

オミクロン株対応ワクチンでの追加接種を希望する方は、2022年中に
従来型ワクチンでの1・2回目接種を受けてください。

(現時点では、予防接種法上の臨時接種期間は2023年3月31日までです。)



ワクチンの効果



重症化予防 感染予防 発症予防

2種類の2価ワクチン（BA.1対応型/BA.4-5対応型）のいずれも、従来のワクチンを上回る**オミクロン株への効果**が期待されています。

オミクロン株対応ワクチンには、オミクロン株の成分が含まれるため、従来のワクチンと比較した場合、オミクロン株に対する重症化予防効果、感染予防効果、発症予防効果それぞれに寄与する免疫をより強く誘導します。

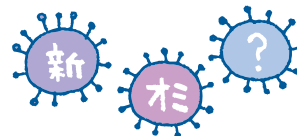
そのため、オミクロン株に対して、**従来型ワクチンを上回る重症化予防効果**とともに、持続期間が短い可能性があるものの、**感染予防効果**や**発症予防効果**も期待されています。



2価のワクチンであることにより、**新型コロナウイルスの様々な変異株に対して反応**します。

異なる2種類の抗原がある「2価ワクチン」であることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。

そのため、**今後の変異株に対して有効である可能性**がより高いことが期待されています。



参考：厚生労働省作成資料「オミクロン株対応2価ワクチン接種のお知らせ(2022年9月版)」/厚生労働省HP Q&A(2022年10月3日現在)

ワクチンの副反応



ファイザー社・モデルナ社どちらのワクチンも従来のワクチンと大きな差は見られませんでした。

主な副反応として、注射した部分の痛み、頭痛、疲労、発熱等がありますが、現時点で重大な懸念は認められないとされています。

接種後7日間に現れた症状

	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	注射部位疼痛	注射部位疼痛・疲労
10~50%	疲労・筋肉痛・頭痛・悪寒・関節痛	頭痛・筋肉痛・関節痛・リンパ節症・悪寒・悪心・嘔吐
1~10%	下痢・発赤・腫脹・発熱・嘔吐	紅斑・発赤・腫脹・硬結・発熱

参考：厚生労働省作成資料「オミクロン株対応2価ワクチン接種のお知らせ(2022年9月版)」/厚生労働省HP Q&A(2022年10月3日現在)

こんな場合は医療機関へ

接種を受けてから数日経っても体調が改善しない場合や、症状が重くつらい場合は、身近な医療機関等を受診しましょう。



他のワクチンとの接種間隔

インフルエンザワクチン

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種では、**接種間隔をあける必要がありません。**

同じ日に一緒に接種を受けること(同時接種)も可能です。



その他のワクチン

インフルエンザワクチンと異なり、新型コロナワクチンとその他のワクチンの接種は、**2週間以上間隔をあける必要があります。**



ワクチンの接種に関する不安や、副反応についての相談など

長野県ワクチン接種相談センター

TEL: 026-235-7380 24時間無休

FAX: 026-403-0320 9:00-17:00(土日・祝日を除く)

接種の予約・手続きの方法など

各市町村
接種相談窓口

接種に関する個別の事前相談

かかりつけ医

参考となるWEB

厚生労働省
新型コロナウイルスワクチン
についてのQ&A

